

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第10週 (ARIのみ第9週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (10週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：梅毒 2 例、播種性クリプトコックス症 1 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	その他
		高鍋	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、呼吸器症状
	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 553 人(定点当たり 26.9)で、前週比 63%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

また、第9週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,738 人(定点当たり 62.1)で、前週比 78%と減少した。

【インフルエンザ】

報告数 322 人(11.5)で、前週比 43%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(16.5)の約 0.7 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

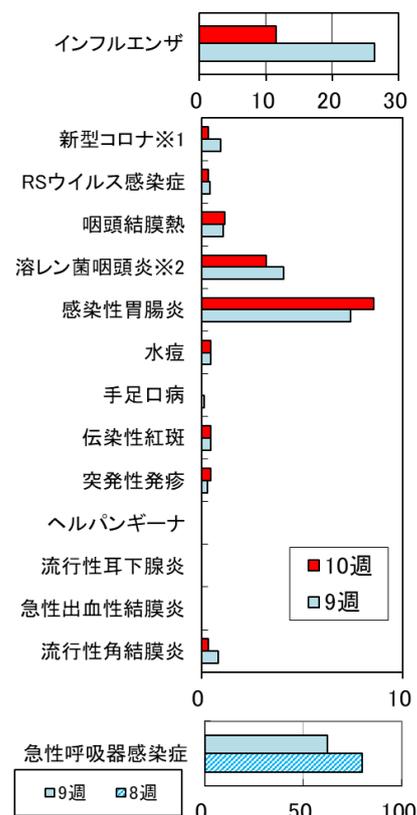
報告数は 128 人(8.5)で、前週比 115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.5)の約 0.8 倍であった。年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 48 人(3.2)で、前週比 79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約 1.3 倍であった。年齢群別は 2 歳から 7 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

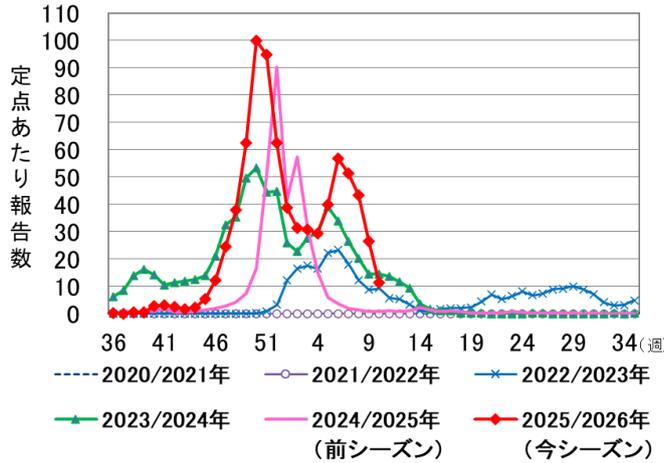
《前週との比較》



定点あたり報告数

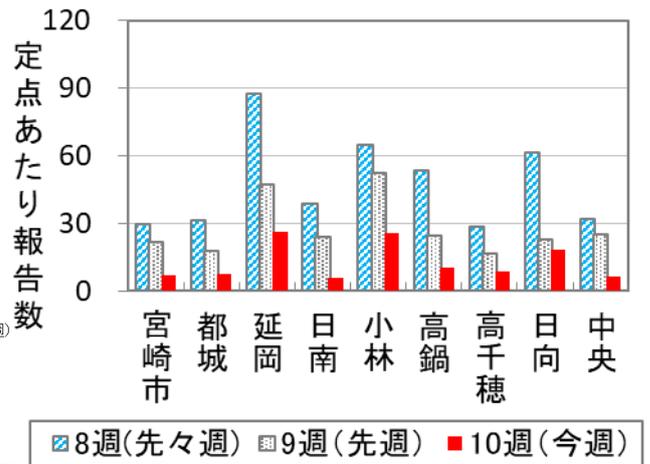
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ 発生状況

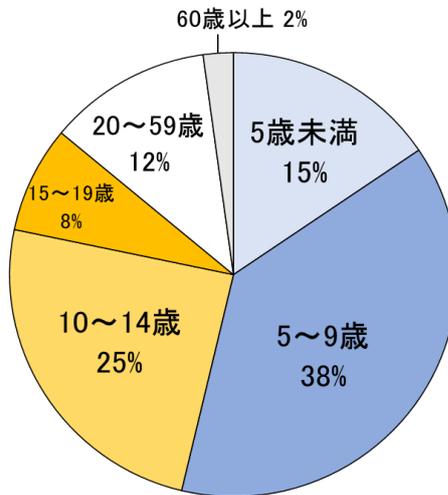


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

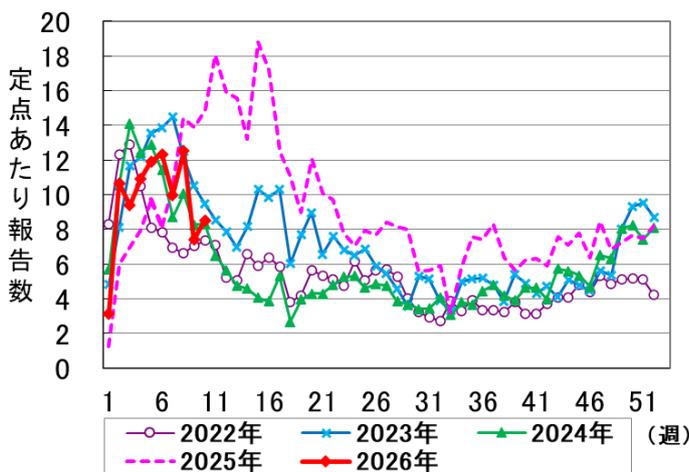
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ年齢群別グラフ(第10週)

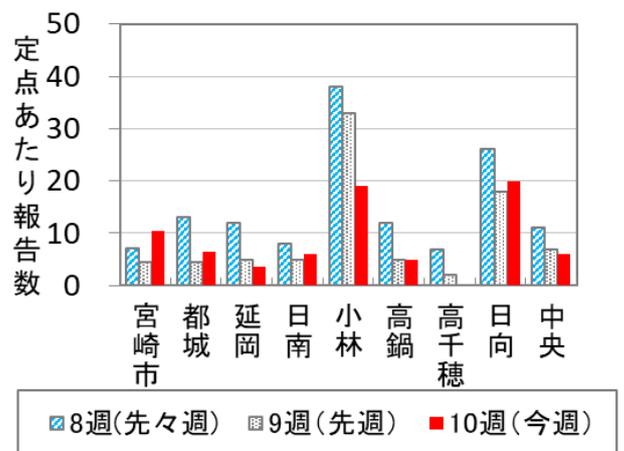


感染性胃腸炎 発生状況

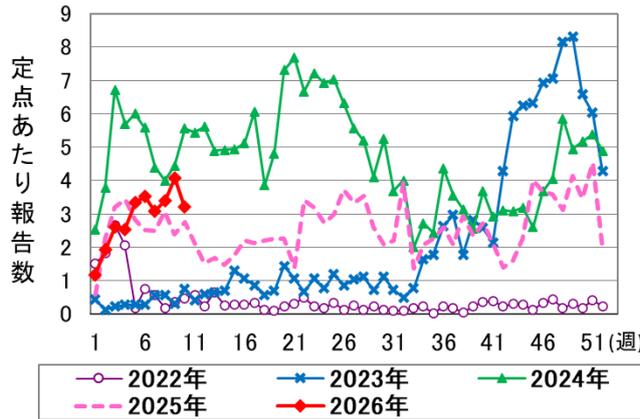


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

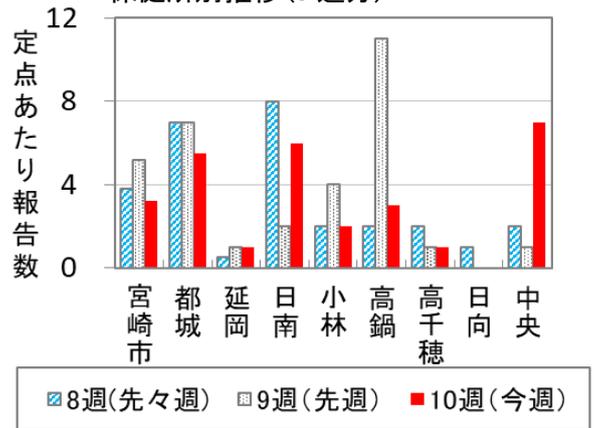


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は1例(定点当たり0.14)で、高鍋保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	インフルエンザ(26.3)
日南	伝染性紅斑(6.0)
小林	インフルエンザ(25.5)、水痘(3.0)
高鍋	インフルエンザ(10.5)
高千穂	水痘(1.0)
日向	インフルエンザ(18.5)、感染性胃腸炎(20.0)、水痘(1.0)
中央	水痘(1.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2026年第9週:2月23日～3月1日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	9
		山形系統	0
新型コロナウイルス		1	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	1	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		0	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		4	
受付検体数		15	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

🇯🇵 全国 2026 年第 9 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	190 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11 例	腸チフス	1 例	
4類感染症	E型肝炎	16 例	A型肝炎	2 例	エムボックス
	デング熱	2 例	レジオネラ症	27 例	
5類感染症	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	8 例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	26 例	後天性免疫不全症候群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例	侵襲性肺炎球菌感染症	60 例	水痘(入院例)
	梅毒	132 例	播種性クリプトコックス症	3 例	百日咳
	麻しん	16 例			105 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 70%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、特になく、減少した主な疾患は、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 75%と減少した。

インフルエンザの報告数は 86,175 人(22.7)で前週比 66%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(15.4)の約 1.5 倍であった。長野県(37.2)、石川県(34.4)、岩手県(33.0)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,096 人(2.2)で前週比 77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約 0.8 倍であった。富山県(5.8)、愛媛県(5.7)、鳥取県(5.5)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 14,538 人(6.3)で前週比 79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.1)の約 1.0 倍であった。群馬県(11.4)、大分県(9.9)、石川県(9.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第10週(03月02日～03月08日)

疾病名		第09週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	741	322	62	30	79	12	51	21	17	37	13
	定点当り	26.46	11.50	6.89	7.50	26.33	6.00	25.50	10.50	8.50	18.50	6.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	26	9	1	1	2	2			3		
	定点当り	0.93	0.32	0.11	0.25	0.67	1.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	6	5		1	1					1	2
	定点当り	0.40	0.33	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	16	17	14	2				1			
	定点当り	1.07	1.13	2.80	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	61	48	16	11	2	6	2	3	1		7
	定点当り	4.07	3.20	3.20	5.50	1.00	6.00	2.00	3.00	1.00	0.00	7.00
感染性胃腸炎	報告数	111	128	52	13	7	6	19	5		20	6
	定点当り	7.40	8.53	10.40	6.50	3.50	6.00	19.00	5.00	0.00	20.00	6.00
水痘	報告数	7	7	1				3		1	1	1
	定点当り	0.47	0.47	0.20	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	1.00	1.00	1.00
手足口病	報告数	2										
	定点当り	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	7	7	1			6					
	定点当り	0.47	0.47	0.20	0.00	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	4	7	3		2		2				
	定点当り	0.27	0.47	0.60	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	5	2	1		1						
	定点当り	0.83	0.33	0.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数		1						1			
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

2026年 第09週(02月23日～03月01日)

		第08週	第09週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	2240	1738	447	217	304	92	195	148	66	166	103
	定点当り	80.00	62.07	49.67	54.25	101.33	46.00	97.50	74.00	33.00	83.00	51.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～10週 保健所受理分)

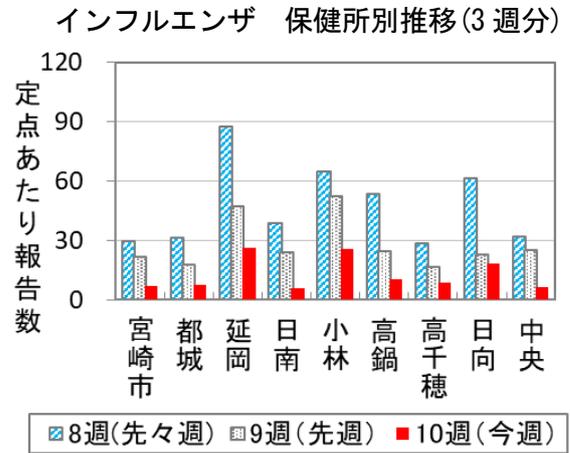
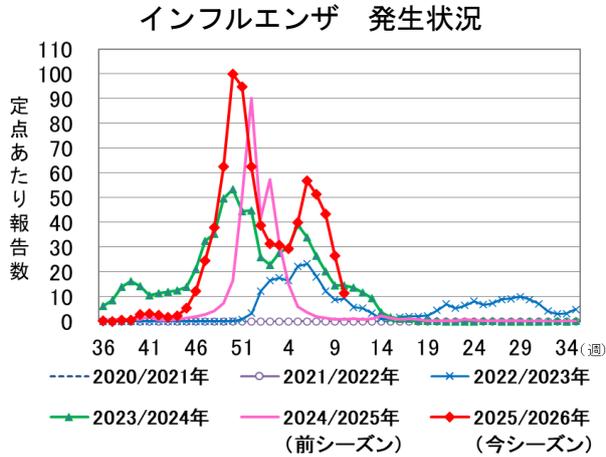
2類感染症	結核	23例										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例										
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	レジオネラ症	1例						
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例						
5類感染症	水痘(入院例)	3例	梅毒	11例(2)	播種性クリプトコックス症	1例(1)						
	破傷風	1例	百日咳	19例(1)								

()内は今週届出分、再掲

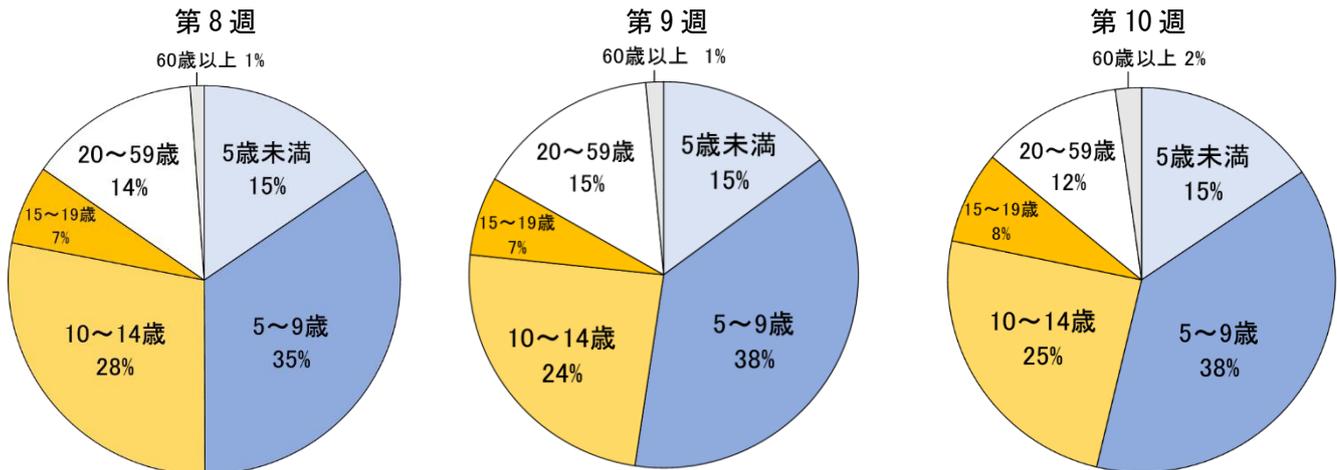
インフルエンザ情報《県内第10週、全国第9週（再掲）》

□ 県内第10週インフルエンザ発生動向

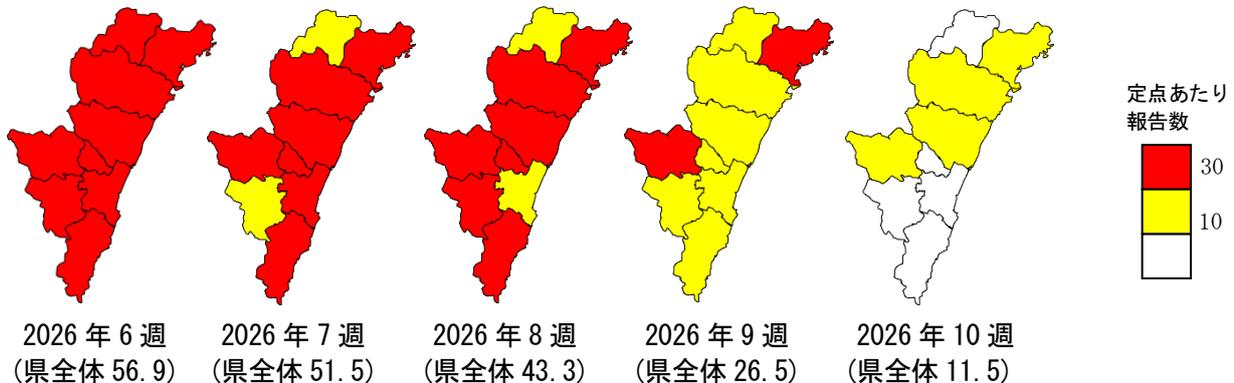
3月2日～3月8日までの1週間では322人(11.5)の報告があった。前週比43%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(16.5)の約0.7倍であった。* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2026年第6週～2026年第10週



□ 全国第9週インフルエンザ発生動向

2月23日～3月1日までの1週間で86,175人(22.7)の報告があった。前週比66%と減少した。長野県(37.2)、石川県(34.4)、岩手県(33.0)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の17%、5-9歳が36%、10-14歳が22%、15-19歳が7%、20-59歳が17%、60歳以上が1%であった。